

岩手教区報

第330号

立教183年6月1日

天理教岩手教務支庁

盛岡市馬場町3-40

TEL 019-622-7962

FAX 019-623-9597



つとめに祈りを込めて

三陸支部長

高橋 邦之

先日、「リモート会議」に初めて参加しました。音声
が少し遅れて聞こえるので、話し出すタイミングの取
り方が難しいのですが、回数を重ねるうちに、スムー
ズに話し合いが出来るようになり、何よりも繋がるこ
とに意義があると感じました。対面で話すことが苦手
な私には有難いシステムなのですが、「リモート」が必
要のない環境に、一日も早く戻ることを願うばかりで
す。

3月初旬、何か出来ることはないだろうか、と模索
していた妻は、北海道のある教会長のSNSに「マス
クが不足している」という悲痛な書き込みを見つけま
した。あり合わせの生地を使って、早速作成に取り掛
かり、出来上がったマスクを現地に送りました。

マスクを着けるといふ行為は人をたすけたいといふ
心につながっていく、と内統領先生はお話し下さいま
した(『みちのとも』6月号参照)。「少しでもたすけ
の輪が広がれば」と、ささやかな願いを込めた妻の手
作りマスクは、多くの人に喜ばれたようです。

「一緒に十二下りのおつとめをしませんか?」と、若
い教友の発信したメッセージが、人伝えで届いたのは
3月下旬のことです。今何をなすべきか思案に暮れて

いた私は、多くの教友と心ひとつに繋がって、終息と
治まりを願うおつとめの提案に、二つ返事で応じまし
た。

明治12年、世界中でコレラが大流行し、国内では10万
人以上が死亡しました。この時、親神様はおふでさき
を通して心の入れ替えを促し、一層つとめを急ぎ込ま
れました。

また、明治19年には、度重なる御苦勞の中、教祖は、
「四方暗くなりて分りなき様になる、其のときつとめの
手、曖昧なることにてはならんから、つとめの手、稽
古せよ。」と、つとめの完成を急がれたのでした。

今の時代は、有難いことに、おつとめを堂々とつと
めることが許される環境にあります。世界は今、先が
見えない不安の中にあつて、困難な生活やつらい思
いをしていく人が数多くいます。この大節を治めて頂け
るよう、うつむきがちな世情にあつても、心はまっす
ぐ親神様に向けて、つとめに祈りを込めた日々を過ご
したいと思えます。

はや／＼と心そろをてしいかりと
つとめするならせかいをさまる



「コロナ禍の節に思う」

「季節性インフルエンザにかかっても死なない元気な人でも、新型コロナウイルスに感染すると死に至るリスクがある」と専門家は警告する。地球的規模で日々流行のスピードのあまりに速いコロナウイルスは、刻々事態を変ええる。終息の出口も見えず、どこまで感染の勢いが増大していくのか。最初の流行から、この先、更に二波、三波と拡大する可能性もあり、その度にウイルスは変異し、毒性が更に高まるなど、予断できない不安もあると専門家は言う。

こうした危機には、国のリーダーである総理大臣が専門家の正しい叡智をより多く集め、迅速に決断し、国民はその方針に従い積極的に対処して行く事である。危機管理に肝心な事は、指導者のリーダーシップと、それに対し国民の「よしや

るぞ」という自主的協力の精神が一体となって初めて成功する。お道の教えなら「二手一つ」であろう。

戦国武将の武田信玄も、「余は人を使うのではなく、人の力を使うのだ」と言っているが、現場の「人の力」を引き出すのがリーダーの役割である。人の力を引き出すには、一番根本にある原則について、野球界の名監督、故野村克也氏の言葉を思い出す。それは「信は万物のもと(基)をなす」という事である。信は信頼の信、信用の信、自信の信、確信の信である。人間社会で「信」が崩れたら何をやっても機能しないという事である。人の力を引き出すには、リーダーは先ず「私心」を捨て、身を削る覚悟で、労苦をいとわず先頭に立ち尽力する。かかるリーダーは国民から信頼される。また、リーダーは日頃から信頼できる部下を育成する。今回の感染症による厳しい困難、混乱の治まりは予測できないが、信仰者お互いは深きご神意を信じて、節から芽の出るよう祈願したいものである。

とのよふなせつない事がありてもなやまいでわないをやのさねんや
 十四ー77
 いまのみち神のせきこみうちなるハ
 あんぢないぞやしかとみていよ
 四ー96



盛岡支部婦人会 お願い勤め

盛岡支部婦人は、5月14日に委員部長がお願いづとめを勤めた。諸行事が中止となった今、この度の事情の治まりを、心一つに結んで祈願した。



計報

土内 徳一郎 (68歳)
 九戸支部・南陸中分教会3代会長
 令和2年5月21日出直された。

行事予定

【6月分】

- 1日 少年会例会 (12時)
- 2日 主事会 (9時)
- ” 役員会議 (10時)
- 7日 女子青年例会 (10時)
- 13日 岩手教区小史編集委員会 (10時)
- ” 青年会例会 (18時)
- ” 学生担当委員会例会 (19時)